

## 大通公園を望む窓辺から

## 空気清浄機との闘い

副会長 藤原 秀俊 ふじわら ひでとし

道医報に同封の空気清浄機のチラシをみて、病院で14台購入した。ウイルスの6分の1の微細粒子を除去し、フィルター交換が不要というものだ。その後半年ほど経ち新聞広告を見た妻がこれに興味を示したので自宅でも購入した。

購入後早速稼働。順調に稼働し、空気がきれいな時はカラーモニターが緑で、普通の時は黄緑、汚い時はオレンジ色、とても汚い時は赤となる。

購入後2ヵ月を経過したある日、待ちに待った掃除の日が来た。説明書通り、最上段オゾン除去フィルターは半年に1回なので掃除せず、2段目の集塵フィルターを洗浄したが、これは丸1日かけて乾燥する必要があり、結構面倒だ。3段目のイオン化ワイヤーフレームは繊細なので優しく掃除。最下段のプレフィルターは大きなホコリや髪の毛を取り除いてくれるが、数ミリのシートがあった。それを取り除くとききれいなフィルターが現れ、掃除機で掃除をし、掃除終了。あとは1日乾燥待ちだ！

エピソード1 ある日、モニターが黄緑だ。理由が不明で、とりあえず一度オフにし、再起動後も同様であった。帰宅後緑になっており、妻に尋ねると、加湿器の掃除をしたとの事。なるほど空気清浄機は加湿器から発生するカビを清浄してくれていたものであった。

エピソード2 朝、清浄機のモニターが赤を示した。何だと思ったが、室内が異常に湿気を帯びていた。寝る前に加湿器を「おやすみ加湿」にするとところをその上の「ターボ」にしていた事が分かった。換気をして、加湿器を通常運転に戻したところ緑になった。そうか、異常加湿も検知するのだ。

エピソード3 母の日、息子達夫婦から香りのよいお花が届いた。室内に入れると、黄緑になった。良い香りでも反応するのだ。空気清浄機との闘いは楽しい。

Official 髭男 dism  
その2理事 恩村 宏樹 おんむら ひろき

今回は、私がいかにOfficial髭男dism (以下、髭男) にはまっているかを書きました。今回は、その髭男のライブコンサートに初めて参加したので、その報告をしたいと思います。

令和4年4月1日、金曜日、18時から真駒内アイスアリーナで開かれたコンサートに参加しました。当然、診療所を二日間、休診にしての参加です。実は、令和3年9月の青森のコンサートに行く予定だったのですが、残念ながらコロナで中止となり、そのリベンジ参加でした。

当日は、函館発10時5分の特急北斗7号に乗り、札幌着が13時52分。大丸の地下で夜の食料を買い込み、ホテルにチェックイン。少し休んだ後、地下鉄で真駒内駅に向かいました。駅からシャトルバスで会場のアイスアリーナに着くと、函館ではお目にかかれなくらいの大勢の人々が集まっております。このコロナ禍でちょっと不思議な感じがしました。18時開演のコンサートなのに会場に着いたのは16時。気合の入りをわかっていただけますか。

会場ではアリーナ席ではなく2階席でしたが、これから始まるコンサートの緊張感で満ち溢れていました。私も含めて結構年配の人がいたので少しほっとしました。いよいよ18時の開演。最初の曲は映画ドラえもん主題歌でもある「Universe」でした。圧倒的な演奏と、それに負けない聡のボーカルが会場を満ち、すぐに髭男の世界に引き込まれてしまいました。時々、聡や檜ちゃんのトークを交えながら、アンコールの3曲を入れた全22曲。2時間半があつという間に過ぎていきました。

令和2年12月に、「髭男のコンサートを生で観に行ける日が来るのを心から祈るばかりです」と書いてから1年4ヵ月。やっと実現したライブコンサート参加でしたが、想像していた以上に素晴らしかったです。次は今年の9月の青森を狙っています。

